

診療技術部門
栄養管理科の
新人教育について
(新人教育プログラム)
2020年版



公益財団法人

筑波メディカルセンター

TSUKUBA Medical Center Foundation

目次

- ・新人教育にあたって
法人診療技術部門長 挨拶
- ・組織図
- ・法人教育・研修委員会主催新人オリエンテーション内容(2020年度実績)
- ・各科(課)のプログラム
 - 栄養管理科-----P.4

新人教育にあたって

法人診療技術部門長の挨拶

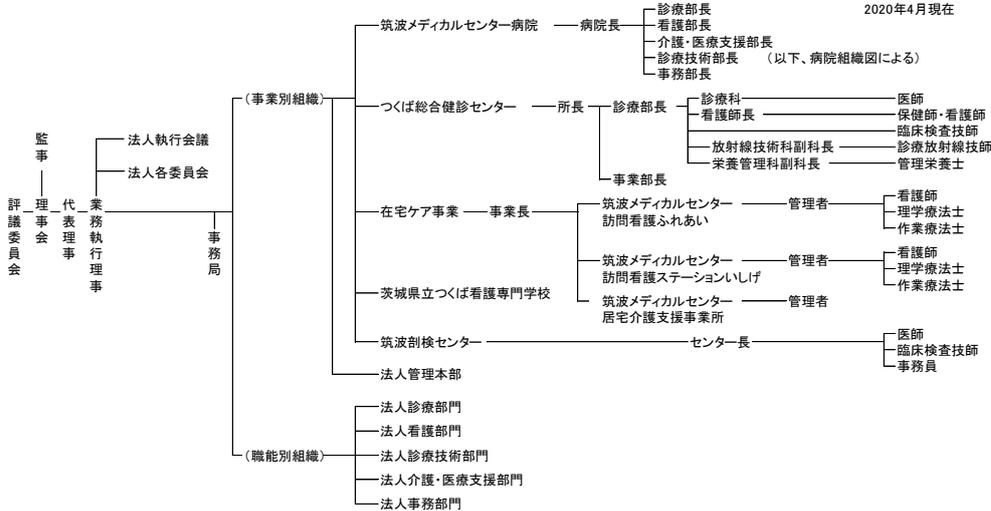
この度はご入職いただき、ありがとうございます。心から歓迎いたします。

さて、みなさんは国家資格を保有した専門職ですが、まだスタートラインに立ったに過ぎません。これからいろいろな経験や学習をし、一人前の医療者になっていかれますが、きちんとやっていけるのか不安だと思います。でも安心してください。新入職員を育てるのは我々の責務です。そこで、誰もが同じように成長できるよう、教育プログラムを作成しました。我々はこの教育プログラムに沿って精一杯指導をし、みなさんの成長の手助けをしますので、それにお応えいただき、より多くのことを習得いただければ幸いです。

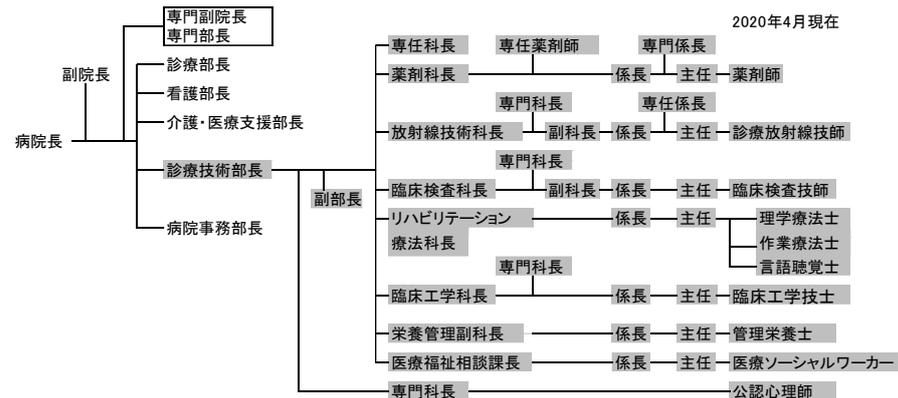
法人診療技術部門長 飯村 秀樹

組織図

公益財団法人筑波メディカルセンター組織図



筑波メディカルセンター病院組織図



法人教育・研修委員会主催新人オリエンテーション内容(2020年度実績)

研修期間 7日間

研修内容

- 1日目 公益財団法人紹介、各事業部署紹介、各部門紹介、臨床研修医制度紹介
- 2日目 避難訓練、BLS/AED、健康診断、部門間体験
- 3日目・4日目 外部講師講義(フレッシュパーソン研修)
- 5日目 接遇・マナー研修、BLS/AED、健康診断、部門間体験
- 6日目 労働安全衛生管理講義、個人情報保護講義、ハラスメント研修、医療制度講義
チーム医療講義、勤怠管理システム操作説明
- 7日目 医療安全・感染管理講義、ストレスマネジメント研修、人事評価制度説明
福利厚生説明

栄養管理科

1、概要(オリエンテーション)

当科は病院と健診の分野があり、それぞれの現場で能力を十分に発揮し、貢献できる管理栄養士の人材育成を行う事を目的としている。また、専門知識のみならず、社会人としてのマナーや基本行動等の社会人スキルの習得につながる教育プログラムを目指している。

【病院】

給食管理業務から始め、その後、病棟における栄養管理や栄養指導業務に携わり、チーム医療の一員として貢献できる人材育成を行っていく。

【健診センター】

特定保健指導をはじめとする栄養相談業務や健康づくりへの啓発活動等、予防の観点から活躍できる人材育成を行っていく。

2、教育項目

【全体】

・接遇(言葉づかい・身だしなみ・表情・あいさつ等)、電話対応、服務規定に関する事、

【病院】

・給食管理:

厨房業務(実務研修)・約束食事箋・食事オーダーについて
献立作成、給食システム操作、選択メニュー業務、事故対応・感染対策など

・栄養管理:

栄養管理手順・栄養アセスメント・栄養プラン作成について
電子カルテの閲覧と記載、補助食品や経腸栄養剤の種類と特徴の学習、
NST 回診・その他回診、カンファレンスでの役割など

・栄養指導:

予約対応、診療報酬コスト確認、統計作成、配布媒体作成、病態毎の栄養指導など

【健診】

・問診票および報告書作成:

OCR 操作、健診システムによる問診票入力、自動判定操作など

・栄養相談などの健康教育(特定保健指導を含む):

健診コース毎のタイムスケジュールと検査項目についての理解
健診システム(誘導支援システム)操作、媒体作成、
特定保健指導について概要の理解、特定保健指導システムの操作、
医師・保健師の面談見学からの各職種の役割を理解
栄養相談見学、特定保健指導全般の見学、
データ・記録・書類等の管理、メール・手紙・電話などの基本的マナーなど

・健診食：

健診弁当の栄養価基準、エネルギー産生栄養素バランスや食塩量調整方法、
掲示・配布資料の作成など

3、習得目標期間・タイムスケジュール

【病院】

1ヶ月目：集中的な研修期間として、各業務の見学や厨房の実務研修を行う。

2～6ヶ月：電話対応、選択メニュー配布・集計、各種事務作業を習得していく。

6～12ヶ月：献立業務、務入院時スクリーニング業務、病棟業務を教育担当者より指導を受けながら実施していく。

1～2年は病棟業務を単独で実施できるようになることを目標とする。また、栄養相談業務を教育担当者より指導を受けながら実施していく。

3年目以降：診療科カンファレンスに参加し、病棟業務、栄養相談業務において対応できる疾患を拡げていく。5年目以降は会議への参加、院内勉強会を担当し栄養管理科業務の概ねを把握できることを目標とする。

【健診】

1週間：研修期間として各職種の業務を見学する。問診票・報告書関連業務等の実務研修を行う。

2～4週間：栄養相談のロールプレイをスタートさせ栄養相談実施に向けた指導を行う。

1～2ヶ月：事務作業、リーフレット作成等を行う。またオプション検査の結果説明を開始するとともに、生活習慣病関連の簡単な相談を少しずつ開始する。

3～4ヶ月：栄養相談件数を少しずつ増加させ、特定保健指導についての概要について研修を開始する。

5～6ヶ月：特定保健指導を実施し始め、少しずつ担当を増やしていく

1年：特定保健指導実施および栄養相談を単独で出来るようにする。

3年目以降には健康セミナーなどを行えるようにする

4、各科での研修プラン

【病院】

月1回科内勉強会を開催

疾患ごとの栄養管理や症例についてスライドにまとめ発表

経管栄養剤や補助食品の講習会

学会や外部勉強会の研修報告

【健診】

月1回科内勉強会(健診)を開催し症例検討を実施

研修報告会

課題学習報告

5、認定資格・取得者数

【病院】

NST 専門療法士(日本臨床栄養代謝学会) 3名

静脈経腸栄養(TNT-D)管理栄養士(日本栄養士会) 2名

糖尿病療養指導士(日本糖尿病療養指導士認定機構) 3名

健康運動指導士(健康・体力づくり事業財団) 2名

【健診】

人間ドック健診情報管理指導士(日本人間ドック学会)2名

作成日 : 2020年8月

作成 : 診療技術部教育委員会

編集担当者 : 池田・石黒・糸賀・江口・中川・村田